

様式第3号

## 会 議 録

会議名 (付属機関等名)		第15回 キセラ川西エコまち協議会	
事務局 (担当課)		みどり土木部 キセラ川西推進室 地区整備課	
開催日時		平成29年9月7日(木) 10時00分～12時00分	
開催場所		川西市役所 4階庁議室	
出席者	委員	加藤、山中、武田、松村、安田、加美田、松塚、登木、井上、中家(代理 今井)、蟹井、篠崎(代理萩倉)、五島(代理林谷)、新田、河合、北野(敬称略)	
	その他	(オブザーバー) 松下、坂野、柴田(敬称略)	
	事務局	宮定、古山、池永、三浦(地区整備課)、名嘉真(地区推進課) 絹原、中川(調査機関)	
傍聴の可否		可	傍聴者数
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由		0人	
会議次第		1 開会あいさつ 2 前回からの動き ・工事等の進捗状況 ・建築行為等の手続条例運用状況 ・エコまちラベリング表示サイン・建築賞サインについて ・みどり部会について ・交通部会について 3 議事 ①エネルギーモニタリングについて ②環境学習・普及啓発について ③エコまち運用基準について ④エコまち建築賞の開催等について 4 今後の予定	
会議結果		別紙審議経過のとおり	

# 審議経過

## <開会>

### 1. 開会あいさつ

(事務局)

- ・本来であれば、部長があいさつするところであるが、急用のため欠席させていただいている。お忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。本日の協議会は、今年初めての開催だが、15回目、6年目の年となる。
- ・この夏には、キセラ川西せせらぎ公園のオープンや豊川橋山手線開通などを終えて、目に見えてまちづくりが進んでいる。公園では、オープン以来、プレーパークなどの市民の催しが開催されている。今後も市民の皆さんが愛着を持ち、活動の場として利用いただければと思っている。
- ・また、地区全体の工事は、ほぼ今年度で完了し、来年度に一部の工事を残すのみである。これまで協議会では、低炭素のまちづくりを進めるため、低炭素まちづくり計画の策定や誘導するためのエコまち運用基準を作成し、モニタリングの段階に来ている。今後も、地権者の方々としっかり事前協議を行い、理解していただき、さらなる低炭素の建築誘導を行っていききたい。今後も、目標達成すべく、取り組んでいくので、引き続きよろしくお願ひしたい。
- ・最後に、地区内の大きな動きについて2点報告を行う。これまで、計画されている集客施設について地権者の方々と(株)オークワが協議されていたが、この度、新たに、阪急オアシスが事業者として進められることになった。また、2点目として、公園の西側に計画されている医療施設について、公募により医療法人共和会が選定されていたが、この度、川西市総合医療センターとして、指定管理制度を導入し新たな事業展開を行うこととなっている。平成30年度の開設に向け、検討を進めているところである。

### 2. 前回からの動き

○事務局

- ・資料説明
  - 資料 1-1 工事の進捗状況
  - 資料 1-2 建築行為等の手続き条例運用状況
  - 資料 1-3 ラベリングサイン・エコまち建築賞について
  - 資料 1-4 みどり部会関連資料
  - 資料 1-5 交通部会関連資料

○会長

- ・冒頭で新しい動きについて説明があった。一つは商業施設が変わったこと。また、病院についてである。病院については、ここの協議会の下に分科会を作って進めた経緯がある。選定していただいた方々にご迷惑かからないように確認したい。共和会さんをご辞退された経緯をもう少しご説明いただければどうか。

○委員

- ・病院については、平成27年度にエコまち協議会に選定部会を設置して、市長からの諮問を受けて

選定いただいた経緯がある。その選定の事業者で進んでいくという思いで進んでいたが、5月1日に市から現在ある川西市立病院の改革構想が突然示された。内容は、市の想いとして、市立川西病院を指定管理者制度に移管したいということであった。将来的には、病院の建て替えの話もあったので、キセラ川西地区での建て替えを表明した。それを受けて、選定された事業者さんが構想に賛同するというので辞退届を出されたというのが経緯である。

- ・詳細はつかみかねているが、選定委員会への意見は現時点では出てきていない。新しく建てるとなると公設民営になると聞いている。

#### ○会長

- ・お聞きしたいのは、選定委員会の閉じ方である。辞退した場合、ペナルティーがあるケースもある。損害賠償の可能性などもある。選定委員会は、何を選んだのか？指定管理者を選んだのか？また、選定委員会の役割はどこまでか。

#### ○事務局

- ・選定委員会では、事業者を決定した。

#### ○会長

- ・今回の経緯について、選定委員会が何も知らないというわけにはいかないのではないか。

#### ○委員

- ・選定委員会の設置要項では、選定委員会は、事業者を決定した段階で任期は終わるということになっており、特にその後の責任を負わない要項となっている。

#### ○副会長

- ・結果についての委員への経緯の説明はあった方がよいのではないかと思う。
- ・指定管理者になられる方は選定した事業者ではないということか。

#### ○委員

- ・最終手をあげられるかはわからないが、新たに指定管理者は公募されるとお聞きしている。
- ・資料 1-4 の訂正をお願いしたい。N09、団体名が日本青年会議所となっているが、兵庫県さんとの共催になっている。追加していただきたい。

#### ○委員

- ・精力的に、キセラ川西せせらぎ公園を使っているようで、キセラ川西プレーパークの会は、意欲的に活動されており、使われている。この団体は事前のワークショップの取り組みから生まれた団体なので、その成果であると思う。
- ・一方で、今年度はガイドラインの試行期間ということで、利用料も全て減免しての利用である。今年度はトライ&エラーの年であり、議論のネタを集める重要な期間である。そういう意味では、使い方のバリエーションはもう少し増やしても良いと思う。

- ・芝生の開放もようやくなったところなので、積極的な広報については引き続きよろしくお願ひしたい。

### **3. 議事**

#### **① エネルギーモニタリングについて**

##### ○事務局

- ・資料説明  
資料 2-1-1, 2 エネルギーモニタリング関連資料

##### ○会長

- ・ご質問、ご意見ございますか。
- ・感想ですが、エネルギー消費量が減って、二酸化炭素排出量が増えるというのは、つらいところである。

##### ○委員

- ・電力の排出係数について、2～3年たつと回復する見込みであると、努力しているところである。

#### **② 環境学習・普及啓発について**

##### ○事務局

- ・資料説明  
資料 2-2 環境学習・普及啓発について

##### ○会長

- ・ありがとうございました。ご意見等いかがでしょうか。

##### ○委員

- ・オープニングのイベントも拝見させていただいて、事前に準備していただき、充実プログラムだったと思う。一方で、PFI 後もプログラムが充実するか、展開されるかということが大事なので、プログラムの担い手を育成するプログラムや学校と連携して自然体験学習の場として活用していただけるようなつながりを PFI の期間中につくっていただきたい。定期的で開催されているキセラカフェの中で、ノウハウや知恵を地元の方に継承して、PFI の契約終了後への展開についても検討いただければと思う。

##### ○委員

- ・PFI が終わった後も見据えて、コアになっていただける方を育成するというのも業務の一つになっている。キセラカフェの中でも何人か企画のコアになっていただけそうな方も何名か出てきている。引き継げるように支援していきたい。学校など参加していただく努力が少ないのか、参加者は、まだ、固定した方のみなので、地域に日常から使っていただけそうな方を巻き込みながら、コアになっていただける方とあわせて支援していきたいと思う。

○委員

- ・自然体験学習については、公園整備にあたって施工ワークショップを実施しており、生徒さんに芝生を張るワークショップに参加いただけないかという話を周辺の2つの学校に投げかけて実施した過程があった。また、学校の方でも自然学習のカリキュラムの中で、フィールドとして活用していきたいというお声も聞いている。
- ・PFI後の展開については、庁内の関係部署と連携して取りながら考えていきたい。

○会長

- ・今後の展望もぜひお願いしたい。また、そのための最大限の支援を協議会もしていければと思う。

○委員

- ・2点ほどある。来る方の多様性を増やしていくということも必要である。さらに、公園だけでなく、周辺の集合住宅のつくられた庭園など周辺とも連携して周辺環境も活用する形でワークショップなどもした方が、迎える側の連携も出来るのではないかと。
- ・小学校の指導要領が変わった。その目玉の1つは防災教育である。教育ということでは、この公園もターゲットとなると思うので、地元の学校の先生と一緒にワークシートをつくるような取組をしてはどうか。
- ・防災機能を有したキセラ川西せせらぎ公園で避難したときにどういう過ごし方をするのかなど、この公園ならではのプログラムが出来ると思うので教育委員会からも喜ばれるのではないかと。ぜひ、学校と連携してプログラム化をしていただければと思う。

○会長

- ・ありがとうございました。阪急オアシスさんや医療施設の方も、この公園の魅力アップのためにしていただけることがあるのではないかと。イメージづくりなどソフトな取組の支援をしていただけるような仕掛けもできると良いと思う。

**③ エコまち運用基準について**

○事務局

- ・資料説明  
資料 3-1, 2 エコまち運用基準改訂について

○会長

- ・国の運用基準がレベルアップしているので、連動してエコまちの運用基準を変えたということである。

○副会長

- ・P19、戸建住宅についてUA値は掲載しないのか。

○事務局

- ・基準値があるので、実際には数値があると思うが、実際に戸建ての設計される方が普段確認される表記で記載していると考えられる。

○副会長

- ・また、開口部が窓となったということだが、どのような経緯があるのか。開口しないような窓、嵌め殺しの窓はどのような扱いになるのか。

○事務局

- ・おっしゃるとおりであると思うが、CASBEEの改定の経緯等確認したい。

○会長

- ・兵庫県はCASBEEをお持ちだと思う。基準は頻繁に変えて、運用は自治体に合わせるということが多い。キラセ川西地区では、率先してやっているが、どう評価していただけるのか。

○県

- ・基準は基準なので守らざるを得ないのではないかと思う。

○会長

- ・ガイドラインは厳密には法律ではないが、兵庫県さんもあわせて変更されるのか。

○県

- ・基本的にはその方向である。

○副会長

- ・CASBEE本体で改定になった箇所、断熱性能など「レベル4を超える」水準と断熱性能とあるが、「超える」とはどれくらい超えることを指し示すのか。

○事務局

- ・CASBEE本体の方の解説を確認する。

**④ エコまち運用基準について**

○事務局

- ・資料説明  
資料4 エコまち建築賞の開催等について

○会長

- ・資料4について、ご意見いかがか。特に、今年度の開催の有無についてもご意見いただきたい。

○委員

- ・少しでも励みになればと思うので、続けると良いと思う。また、ご提案のように、前年度も賞を受賞しなかった案件も追加する形で続けてはどうかと思う。

○会長

- ・せっかくもうけたので、2号で廃刊は寂しいので3年くらいはやってはどうかということかと思う。
- ・ラベリングや建築賞を実施する意図として、計画や実施内容を検証するということもあるが、基準をつくってまちづくりをやっているという対外的にPRをすることも重要なことかと思う。
- ・ご提案の内容で良いか。

○委員

- ・現在、エコまち運用基準で事前協議されているが、市域への横展開の可能性はどうか。
- ・2号では寂しいという話があったが、キセラ川西地区で実施するのは、3号までではないかという気もする。本来、地区でモデル的に実施し、市内への展開が本来の目的でもあり、川西市全体を低炭素化していくということである。その点について、市内部ではどのようにお考えになっているのか。

○事務局

- ・エコまち運用基準については、現在、キセラ川西地区内で考えているが、ご意見もいただいたので、かなりハードルはあると思うが、関係部署へ図っていきたい。

○会長

- ・川西市はCASBEEに関する条例は持っていないということか。

○事務局

- ・持っていない。

○委員

- ・県の条例に基づき、市へ届出がある状況である。景観条例、景観計画もあるのでフォローはあるが、どのような水準を要求していくかは課題かと思う。低炭素については、新築等の届出はある。長期優良住宅も低炭素化が条件となっている。
- ・国が平成25年度から平成28年度基準に変わったので、全て影響してくるとは考えている。

○会長

- ・横展開の必要性は感じられているところだと思うが、地区内外の格差の問題もある。高いところを横展開するのは難しいということも分かるが、検討してはというご提案だと思う。
- ・ぜひ、がんばっていただければと思う。

○委員

- ・キセラ川西エコまち協議会の話を生内で説明しようとする、手続きの話、削減結果の話、市、学識者との協働の話などてんこ盛りになっている。今、成果が見えて来たところなので、ぜひ市で検討していただきたいのは、小学生でも分かるような、分かりやすいパッケージとして、10分くらいで何のために誰が何をやってどんな成果が出ているのかということをもとめていただくと良いと思う。

○会長

- ・普及啓発活動の一環だと思うが、そのようなものがあると参加されている方も説明しやすいと思う。役割は、市の役割か協議会の役割なのか議論があるかもしれない。

○委員

- ・キセラ整備事業の全体の説明は、出前講座などの仕組みがある。しかし、エコまち計画に特化した説明資料はない。計画も平成34年度までの計画であり、評価の段階に来ている。
- ・横展開の話にも影響するが、どこかの部署に引き継ぐことも想定しているので、どこまで出来るか分からないが、説明できる資料をイメージして取り組みたいと思う。

## **5. 今後の予定**

○事務局

- ・本日はありがとうございました。エネルギーモニタリング公表案は公表の手続きに入っていくと思う。同様に、エコまち運用基準の改定版の冊子をお送りする予定である。エコまち建築賞については、選考を進めるので、選考メンバーへ詳細をご案内していく。
- ・次回のキセラ川西エコまち協議会は、来年1月頃を予定しているので、引き続きよろしくお願ひしたい。

○会長

- ・それでは、特になければ、これで閉会したいと思います。ありがとうございました。